



## さあ、減塩！～減塩委員会から一般のみなさまへ～



### 減塩サミットin吳2012を開催して、未だ冷めやらぬ興奮の中

もはや減塩は高血圧患者だけのものではなく、子供から大人まで日本人全ての問題ととらえて、「子供たちとこの国の未来のために、市民と医師が本気で減塩について考える」～SALT-CONSCIOUS～と謳って、研究、学習的要素と、実際に見たり、聞いたり食べたりできる体験的要素を合わせた知的好奇心を刺激する総合イベントを目指す初めての試みとして減塩サミットin吳は開催されました。これまで、市民公開講座による減塩啓発活動で関心は高まっても、なかなか減塩できる社会環境ではないので、実社会ではなかなか進まないのが実情でした。

それが、このサミットで、最低8000人以上の大勢の市民や患者さん、医師、医療関係者、製塩業者、外食産業、加工食品企業、医療健康機器メーカー、大学生、高校生、小中学生、教育分野、行政関係者等が一堂に会して、また、マスメディアの関心も高く、減塩の潜在的な興味や需要が非常に大きい事にお互いに気付いたこと、そして塩を意識し、減塩の必要性の認識を共有した事で、何か椅子でも動かなかつた重いものが減塩方向にぐっと動いたような熱気とうねりを感じました。開会式から人が集まり、各講演会場や一般演題会場にも人が多く、12店の減塩屋台や、減塩食品、調味料のブースなどに順番待ちの列ができるのは印象的でした。この熱気が冷めないように、このうねりを止めないように、今後も減塩サミットは各地で開催を継続し、また、企業が減塩をビジネスチャンスととらえ、学校が食育に減塩を取り入れ、行政が減塩を推進し、減塩が流行になりしかも定着することを祈ってやみません。“心に太陽を唇に減塩を”唱えようと思います。

2012年5月28日

減塩サミットin吳代表、日本高血圧学会減塩委員会委員、日下美穂